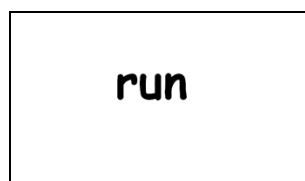


(1) 実践内容

○2 学年 Lesson 6A The 3Rs in Germany and Japan

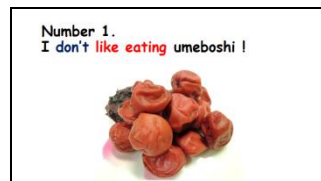
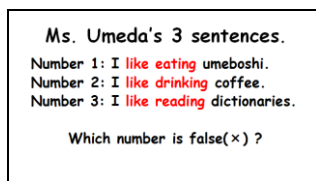
Lesson 6Aでは、動名詞を学習した。どの生徒にも分かりやすく楽しめる活動になるように、視覚を中心とした活動を多く取り入れ、英語で自分の好きなこと・嫌いなことについて伝え合えるように工夫した。最初は生徒間で競争できる分かりやすいものが良いと考え、1つ目の活動としてカルタを行った。表面がイラストで裏面が単語の書かれたカードを準備した。3～4人で1つのグループとなり、合計2回カルタを行った。1回目はイラストの面で行い、2回目は単語の面で行った。視覚中心の活動であるため、日本語を使わずに活動を進めることができた。



2つ目は、ある人物の好きなことと嫌いなことに関するイラストを見せ、生徒たちがその人物を当てるという活動を行った。日頃から関わりのある教員を対象人物にしたため、大いに盛り上がる活動となった。



3つ目は、相手の嫌いなことを当てる活動を行った。まずは例として、教科担任が生徒たちに3つの英文を紹介した。その際にイラストも見せ、生徒たちが英文の内容を推測できるように工夫した。3つの英文は、すべて“I like 動詞+ing.”で紹介した。その後生徒たちをカルタの時のグループにさせ、互いに書いた英文から各人の嫌いなものを当てさせた。最後に班対抗で活動させた。



(2) 成果・課題

どの生徒にも分かりやすく楽しめる活動だったため、普段は授業で消極的になりがちな生徒たちも生き生きと活動することができた。中でも、アルファベットをきちんと書けず今まで活動に全く参加できていなかった生徒が、今回行った班対抗で各グループの代表生徒を決めさせた際に自ら代表生徒となり大きな声で3つの英文を発表することができた。

今後も、スモールステップを多く取り入れた分かりやすい授業を展開したい。